

◎検討テーマ「安全、安心のきずなづくりに向けて」に関する事前アンケート集計表

	アイデア・意見等	委員名
区民会議（区民）が実施するアイデア等	中原区全町会・自治会、地区社協、地区民協が一体となって「向こう三軒両隣り」の精神を大切にして、自主防災活動の啓蒙・推進。緊急時の安否確認体制の構築を行う。	青木委員
	地域の既存団体（地区社協、老人会、町内会、民生委員児童委員協議会等）のネットワーク化（各団体の活動調査、連携状況調査）を行い、地域問題を迅速に解決に結びつけられるようなネットワークの構築を支援する。	板倉委員
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域・企業に制度の情報を伝え、区民・働く者に周知するように働きかける。</li> <li>●諸制度を活用するよう、制度への登録などをトップダウン（企業の窓口、町内会の班長など）で所属する組織に対する作業を進めるよう働きかける。</li> </ul>	稲富委員
	<p>人間関係の希薄により、色々な面で影響があることは誰しも感じているのではないか。いざという時に、近隣を知ることは必要と感じる。顔見知りを多く作ることだと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災訓練の実施がされていないように思う。特にマンションでの実施が少なく感じる。</li> <li>・楽しいテーマで街を知る。近所の避難所の確認や避難所までの道順、危険箇所等の発見を行う。</li> <li>・いざという時に備え、保存食、常備食の作り方の講習会を開催し、町会の人達と絆を深める。</li> <li>・町会の特長、自慢の発表を行う。まとめる過程での絆づくり。（イベントの実施。イベントは大きなものではなく、小さなものの方が顔見知りになれるので人間関係が深まる。）</li> </ul>	岡本委員
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●楽しんで継続できるような取組みのものが理想であるが、現実には個々の事柄で手一杯なのではと感じている。</li> <li>●イベントを仕掛けるのは良いが課題はどのように定着させていくかだと感じている。地域の公園を活用した世代間の交流を何か企画できたらと思うが、これという具体案が浮かばない。</li> </ul>	川崎委員
	区民会議の委員の出身母体や関係団体等で、防災に対する準備として川崎市が実施している「ぼうさい出前講座」を開催する。	川連委員
	まず、住民の自助努力でどこまでネットワークが出来るか。そこに行政、社協、地域包括支援センターがからんでいけるか。出来るところからやってみる。	杉野委員

区民会議（区民）が実施するアイデア等	<ul style="list-style-type: none"> <li>●大規模なイベント（交流の場）を開催するには、予算及び人員の面からも計画、実施までに、かなりの時間を要するので、・房委員の提案を活かし、地区の公園ごとに小規模な交流の場（お年寄りや子ども達、保護者）を作り、そこで避難訓練や災害時対応のノウハウを伝えていく。公園を区民会議としての実践の場として、それぞれの団体の特性を活かし、公園ごとに内容を変えながら交流の場としていく。</li> <li>●行政や各団体の従来の役割を基に横の面からつながりで協力して開催したい。</li> </ul>	鈴木委員
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域の役員だけではなく、住民全体で取り組む。定年退職された方を活用する。</li> <li>●近隣公園を整備し、くつろげる場所とする。（要援護防止、育児、コミュニケーションに最適である。）</li> </ul>	寺岡委員
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●防災についての意識づくり</li> <li>●防災マップ作り</li> <li>●避難訓練の実施</li> <li>●ネットワーク作り</li> <li>●人間関係が希薄になっていることかが障害となっているので、信頼関係を深め、絆を強めるイベントの開催（中原区防災イベント）</li> </ul>	富岡委員
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●制度周知のために町会回覧の発行</li> <li>●回覧板未読者のための町会掲示板の活用</li> <li>●区民会議内に広報部会設置</li> </ul>	芳賀委員
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●イラストの入った防災マップなどを作ってみてはどうか。</li> <li>●「掃除デー」など、区民で話しあう日を設けたらどうか。</li> </ul>	藤嶋委員
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●子育てサロンやイベント等で、乳幼児を持つ方のための防災出前講座を開催する。⇒若い世代への意識づけ</li> <li>●「安全・安心のきずなづくり」のポスターを作成し、区民へ啓発する。</li> <li>●身近な防災制度の周知及び地域における共助に欠かせない福祉協力者（員）を育成する。</li> </ul>	松本委員
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●区民会議として「安全・安心のきずなづくり」の冊子を作成する。</li> </ul>	村山委員
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「災害時要援護者支援」の対策として、町会に福祉部を創設し、担当民生委員を構成委員として加えた。そのことにより町会と民生委員の情報交換・情報共有が円滑に行われるようになった。</li> </ul>	・房委員

	アイデア・意見等	委員名
区民会議として行政に提案するアイデア等	最優先課題として人命救助と考えます。そのためには安否確認が重要です。宮前区鷺沼町会では「災害時は3時間で安否確認」との防災スローガンを掲げた活動を実施している。中原区全体として「安否確認体制」を構築に取り組むべきである。	青木委員
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●区内の町内会、自治会、マンション管理組合、NPO等の個別の団体を緩やかに巻き込んだネットワークの構築</li> <li>●特に、核となる人材、次世代の活動人材を育てていく場が必要ではないか。</li> <li>●大規模マンション、集合住宅単位で新住民のニーズの把握を進めて欲しい。</li> </ul>	板倉委員
	●災害対策について全容や諸制度をまとめた資料・情報の作成と公開	稲富委員
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●今回挙げられた制度は「身近な制度」として紹介されたが、現実にはあまり身近ではないので、制度周知には工夫が必要であると感じた。</li> <li>●「きずな」は、日頃のコミュニケーションの中でしか築けないので、「場」の提供を積極的に行ってもらえたらと願っています。</li> </ul>	川崎委員
	商店街に防犯カメラを設置することが、安全・安心のまちづくりに役立つと言われているので、区役所から防犯カメラ未設置の商店街に設置の依頼をする。	川連委員
	住民、民生委員、町会長、自治会長、行政が、いざ災害の時に行動できるか知恵を出し合い話し合う。特に町会長・自治会長の理解は必要です。	杉野委員
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各種の市民委託委員をもっと活用し、地域に網羅する情報ネットワークを強固にして欲しい。町内会・自治会が機能することが難しいならば、学校単位の組織形成が可能か、否か。</li> <li>●個人情報の壁に当り、様々な情報の入手や発信が困難と思うが、行政の取りこぼしは許されないのではないか。</li> </ul>	鈴木委員
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●個人情報保護法もあるが、情報を共有出来る体制を構築することが重要である。</li> <li>●各種制度が確立しても、避難訓練の実施が必要である。</li> </ul>	寺岡委員

区民会議として行政に提案するアイデア等	これらの良い制度があるので、縦割行政を打破して、横の連携を密に取り、情報を共有して組織を再構築すべきである。(各制度の連携)	富岡委員
	区民全員への制度の周知・意識高揚のための広報誌の発行。	芳賀委員
	近所の「住民組織」が一番大切と感じている。住民組織も高齢化が進んでいる。若い方々が関心を持ち、災害時にも支援して頂けるかが課題と感じている。	藤嶋委員
	●地域防災について、行政と市民に考え方の差があるのではないか。防災の行政と市民の連携度をどのように評価しているのか。 ●東海、東南海、南海の3地震連動に備えて、自治体対応マニュアルの策定	松原委員
	●中原区は子育て世代（特に乳幼児）が多いので、地域との関わりが少ない乳幼児を持つ家庭向けの防災ハンドブックを作成し、防災への関心を高め、普段から地域での近所づきあいが大切であること、助けあいや自助（わが子を防災から守る）強化を促す。市の防災マップ「備える。かわさき」は一般向け。	松本委員
	●イベントを通しての区民への情報発信 ●交流会を地域ごとに開催しての情報発信	村山委員
	●区内には多くの企業があり、日中に激甚災害が発生した場合は、区民数以上の人数が居ることを、町内会連絡網だけではなく避難場所、防災用品等も考慮して欲しい。	矢野委員
	●テーマ「安全・安心のきずなづくりに向けて」は、問題点が広範囲に分散している。アイデアを絞ってまとめていく必要がある。	・房委員